

## 授業科目 福祉用具Ⅴ

【担当教員名】 東江 由起夫、高橋 義信、三村 宣治		対象学年	4	対象学科	義肢
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○				
【概要】 本科目では2つのテーマを扱う。これらのうち1つは介護ロボットに代表される「福祉ロボット」であり、また、他方は福祉用具・機器に関連する「規格化、標準化」である。					
【行動目標：SBO】 1. 福祉ロボットのニーズ、実用化例、現状における課題と今後の発展性について説明できる。 2. 福祉用具・機器に求められる安全性、規格化、標準化について概略を説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	概論：福祉ロボット、福祉機器の規格と標準化				
2	ロボットとは何か				担当：三村 宣治
3	福祉ロボットの基礎				担当：三村 宣治
4	福祉ロボットのニーズ				担当：三村 宣治
5	福祉ロボットの現状と課題				担当：三村 宣治
6	代表的福祉ロボットの仕組み				担当：三村 宣治
7	福祉ロボット使用性評価				担当：三村 宣治
8	まとめ / 試験				担当：三村 宣治
9	標準化と規格概要				担当：高橋 義信
10	福祉用具の ISO および JIS 規格				担当：高橋 義信
11	国内および海外の福祉用具試験評価の現状				担当：高橋 義信
12	福祉用具の変遷				担当：高橋 義信
13	福祉用具開発の要点と事故事例				担当：高橋 義信
14	福祉用具設計演習				担当：高橋 義信
15	福祉用具産業と研究の動向				担当：高橋 義信
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		ロボット	新井健生	ナツメ社	2006・1,350円
		メカトロニクス	三浦宏文	オーム社	1997
		Introduction To Rehabilitation Engineering and Assistive Technology	R. Coope, H. Ohnabe, D. A. Hobson	Taylor & Francis	2006
その他の資料		板書、プリント、Power Point を使用する。			
【評価方法】 最終筆記試験 70%、レポート 30%		【履修上の留意点】 原則、欠席 1 回につき - 5 点、遅刻 1 回につき - 3 点を最終評価から減点する。また遅刻 2 回で 1 回の欠席とする。 授業の 1 / 3 を欠席した者は、原則、科目評価資格を失うものとする。			